

品質・収量に優れるセンリョウの新品種「紅珠」「黄珠」(品種登録出願公表中)

[要約]

県で育成したセンリョウ新品種「紅珠」(コウジュ：赤実系)と「黄珠」(オウジュ：黄実系)は、高品質・多収で、上位等級の発生が多く、生産者評価、市場評価が高い優良品種である。

農業総合センター鹿島地帯特産指導所	平成25年度	成果 区分	普及
-------------------	--------	----------	----

1. 背景・ねらい

本県のセンリョウは東京中央卸売市場で全国シェアの約 60%を占め、全国的にも圧倒的な占有率を誇る。全国一の生産県の位置を確保し、有利販売を進めていくため、収量・品質に優れる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「紅珠」(コウジュ：赤実系)、「黄珠」(オウジュ：黄実系)は形質に優れる現地在来品種を、選抜育種により育成した品種である(写真)。ともに、特性が安定した固定品種である。
- 2) 現地での収穫調査では、「紅珠」は積算可販枝数が多く、房数が多い赤色実の品種であり(表1)、「黄珠」は積算可販枝数が多い黄色実の品種である(表1)。ともに収量性が高く、出荷規格に基づく上位等級の発生が多い。
- 3) 生産者評価では、「紅珠」「黄珠」とともに、在来種より房数、実付きが良く、総合評価が高い(表2)。
- 4) 市場評価では、「紅珠」「黄珠」とともに、実付き、全体的なボリューム、葉茎の色・形の評価が高く、商品性(総合評価)の評価が高い(表3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成24年3月8日に品種登録を出願した(出願番号は、「紅珠」：第26808号、「黄珠」：第20809号)。
- 2) 育成時の系統番号は、「紅珠」は「KTS-A1」、「黄珠」は「KTS-K1」である。

4. 具体的データ



写真 「紅珠」(左)と、「黄珠」(右)

表1 現地試験における収穫調査¹⁾

実の色	品種名	H18~21年 積算可販枝 数(本/株)	可販 枝長(cm)	房数 (房/枝)	シュート数 (本/株)	地際 芽数 (本/株)	地際芽 +シュート数 (本/株)
赤	紅珠	9.7	91.0	6.1	1.3	1.3	2.6
	在来種	7.2	86.0	5.0	1.6	1.0	2.6
黄	黄珠	8.0	89.8	5.3	1.7	3.9	5.6
	在来種	5.8	87.3	4.7	1.5	2.5	4.0

¹⁾ 神栖市波崎の現地圃場で栽培。栽培管理については農家委託とし慣行通り。

表2 生産者評価(H21年度)¹⁾

実の色	品種名	総合 評価	実			葉の色つや	樹形等	
			房数	実付き	大きさ		樹高	硬さ
赤	紅珠	2.3	2.5	2.5	2.4	1.4	2.3	2.0
	在来種	1.5	2.0	2.0	2.2	1.6	2.1	2.0
黄	黄珠	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.3
	在来種	1.0	1.2	1.0	1.5	2.2	1.5	2.0

¹⁾ アンケートの点数は、1:悪い、2:良い、3:非常によい(評価者数14名)。

表3 市場評価(H21年度)¹⁾

品種名	評価先	社名	商品性 (総合評価)	実付き	全体的な ボリューム	実と葉の バランス	葉茎の 色・形
紅珠	市場	A	5	5	5	5	5
		B	2	5	4	1	3
	仲卸	C	3	1	2	1	3
		D	3	3	4	4	2
		E	3	3	4	3	3
	平均		3.2	3.4	3.8	2.8	3.2
黄珠	市場	A	4	5	5	5	3
		B	3	3	3	3	3
	仲卸	C	3	1	2	1	3
		D	6	3	3	3	5
		E	3	3	4	3	3
	平均		3.8	3.0	3.4	3.0	3.4

¹⁾ アンケートの点数は、0:非常に悪い、1:悪い、2:やや悪い、3:普通(基準)、4:やや良い、5:良い、6:非常に良い。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

センリョウの優良品種の選抜と育苗等栽培技術の開発・平成12~21年度・鹿島地帯特産指導所